

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	研究機関関係経費	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成7年度	担当課室	政策企画室	室長 中村 亮			
会計区分	一般会計	施策名	II-1 国際の平和と安定に対する取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第31条第2項	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>①英国のシンクタンクであるIISS(英国国際戦略問題研究所)日本委員会に、総合外交政策局長及び政策企画室長を会員として登録することを目的とする。 IISS日本委員会は、IISSの我が国関係者(我が国学識経験者、財界、メディア、政府関係者など有識者)間の交流を促進し、IISSの活動に貢献するための任意団体として1988年に設立された。上記2名を同委員会の会員にすることにより、政治・安全保障分野において世界有数の研究業績を有するIISSと当省との協力関係を維持・発展させることは有意義である。</p> <p>②英国のシンクタンクであるIISS(英国国際戦略問題研究所)が発行する定期刊行物、データベース等入手すること。外交政策シンクタンクとして高い評価を得ているIISSが発出する情報を活用することは、質の高い外交政策の推進に資するものである。また、登録することによりIISSが開催する会議、セミナー等に招待されることとなり、これら総会等に出席することは人的ネットワークの構築につながるものであり、意義が大きい。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>①IISS日本委員会への年会費。 ②IISS英国本部への登録。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	2	1	0.4	0.4	0.5
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	2	1	0.4	0.4	0.5
	執行額	2	1	0.5	-	-	
執行率(%)	96.9	95.1	139.4	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	我が国と世界有数のシンクタンクであるIISSとの関係を強化することで同シンクタンクが企画する数々のシンポジウム・セミナー等への出席が可能となる。こうした機会を通じて人的ネットワークの構築を目指す。直接的な成果実績の提示は困難だが、参考となる指標としてIISSが開催しているシンポジウム・セミナー等の回数を記載する。		成果実績	102	126	132	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	IISS年次総会への本省からの出席人数		活動実績 (当初見込み)	人	1	1	1
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	成果実績及び活動実績の双方が定量的に示せないため記載できない			
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	IISS日本委員会への年会費	6	6	登録人数の見直しによる増			
	IISS英国本部への登録料	346	465				
計	352	471					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	－	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本件経費については、登録料としてIISS英国本部、年会費としてIISS日本委員会へ支出し、予算を有効活用した。 政治・安全保障分野において世界有数の研究業績を有するIISSと当省との協力関係を維持・発展させることで、外交政策の企画立案に極めて有益な、ネットワーク、知見を得ることが可能となること、IISSへの登録は当省外交政策企画立案部門に期待される役割に照らしても有意義であり、引き続き予算を支出し有効活用を図る。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

外務省
0.5百万円

IISS(英国国際戦略問題研究所)への登録料及びIISS日本委員会への年会費を支出

【競争性のない随意契約】

A. IISS(英国国際戦略問題研究所)
0.5百万円

IISS(英国国際戦略問題研究所)登録料を受領する

【競争性のない随意契約】

B. IISS(英国国際戦略問題研究所)日本委員会
0.01百万円

IISS(英国国際戦略問題研究所)日本委員会への年会費を受領する

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. IISS(英国国際戦略問題研究所)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	IISS	IISS(英国国際戦略問題研究所)登録料	0.5	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. IISS日本委員会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	IISS日本委員会	IISS(英国国際戦略問題研究所)日本委員会への年会費	0.01	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					